

ぎがかり月報

加古川市議会事務局

内線3721～3723 平成17年4月1日 390

第1回市議会定例会を開催

第1回定例会は3月1日に開会され、平成17年度当初予算をはじめ市長提出案件52件を原案のとおり可決し、3月25日に閉会しました。

告発文書に関する調査特別委員会を設置

新大崎橋架換工事についての告発文書に関する事項を調査するため、告発文書に関する調査特別委員会を設置しました。

告発文書に関する調査特別委員会

山川 博	未澤正臣	吉野晴雄
安田実稔	栗津敏憲	田中隆男
相良大悟	大西健一	渡辺昭良
小南好弘		

一般会計当初予算を可決

総務費のうち、総務管理費における職員福利厚生事業の需要費1,466万5千円の内容を質問したのに対し、理事者から「主なものは、被服貸与関係で約1,200万円、消耗品で約200万円、保健室の医薬材料等で約38万円である」との答弁がありました。これに対し、議員から「災害時に十分対応できるよう、ヘルメット、長靴などの装備について充実を図ってほしい」との要望がありました。

消費者保護対策事業690万6千円について、平成16年度当初と比べ180万7千円増額した理由を質問したのに対し、理事者から「消費生活相談員を増員し、1日2名体制で実施することとしたためである」との答弁がありました。これに関連し、議員から「法律相談についても、2、3週間待ちの現状を解消してほしい」との要望がありました。

文化活動振興事業の負担金補助及び交付金832万円の内容を質問したのに対し、理事者から「各文化団体などの活動を支援するため、加古

川市文化のまちづくり活動費補助金800万円、ふれあいの祭典全県文化事業負担金32万円を計上しようとするものである」との答弁がありました。

第61回国民体育大会準備事業9,011万1千円のうち、リハーサル大会に要する経費の使途と、競技役員等の人数を質問したのに対し、理事者から「主なものは、帽子・ジャンパー等の支給物、テント・トイレ等の仮設物、大会プログラムの印刷、バスの借上げ等に要する経費で、4競技合計6,886万9千円である。役員等については、ボランティアを含め2,100名程度になると予想している」との答弁がありました。

民生費のうち、社会福祉費における戦没者遺族援護事業307万1千円について、今後の戦没者追悼式のあり方を質問したのに対し、理事者から「戦後60年という節目を迎えることから、事業の終結も視野に入れながら、遺族会と協議を進めていきたい」との答弁がありました。

老人福祉費における生きがい対策事業1億4,230万3千円について、議員から「高齢者を敬うことは大切だが、一律に現金を支給するという敬老祝金事業には疑問を感じる。記念品の贈呈にとどめるなど、見直してほしい」との要望がありました。

児童福祉費における子育てホットライン事業1,203万4千円について、発達障害に関する取組みを質問したのに対し、理事者から「相談件数が増えていることから、臨床心理士の資格を有する者を月曜日から金曜日まで常時2名配置し、体制の整備を図るとともに、障害の早期発見、適切な指導に努めたい」との答弁がありました。

衛生費のうち、保健衛生費における看護専門学校運営事業1億557万9千円に関連して、議員

から「廃止後の職員の処遇については、将来設計等を含め、十分な話し合いを進めるとともに、納得がいく解決を図ってもらいたい」との要望がありました。

清掃費における新クリーンセンター維持補修事業の需用費5億3,032万7千円について、今後の見通しを質問したのに対し、理事者から「焼却炉や溶融炉、公害防止機器の消耗品については、経年劣化による定期的な補修、交換が必要であることから、今後も一定の増は伴うものと考え」との答弁がありました。

農林水産業費のうち、農業費における農業振興事業の委託料60万円の内容を質問したのに対し、理事者から「東神吉南小学校の4年生、5年生、6年生を対象に、田植えなどを通して農業への理解を深めてもらうため、ひょうごっ子コメづくり稲作体験農園管理委託料20万円を、また、志方西小学校を含む市内4小学校の児童を対象に農産物の生産体験、農家とのふれ合いなどを通して農業への理解を深めてもらうため、学童農業体験事業委託料40万円を計上しようとするものである」との答弁がありました。

商工費のうち、観光費における地域名所づくり推進事業150万円の内容を質問したのに対し、理事者から「地域の名所を守り、育て、創造するなど、名所づくりを行う市民団体を支援することにより、地域の連帯意識、ふるさと意識を醸成するとともに、世代間の交流促進を図り、新たな観光資源の発展に寄与するため、モデルとなる5団体に30万円を限度として補助しようとするものである」との答弁がありました。

土木費のうち、都市計画費における公園管理事業に要する一般的経費の臨時駐車場等交通整理（誘導）委託料180万円の内容を質問したのに対し、理事者から「日岡山公園グラウンドの人工芝舗装に伴い、花見などにおける臨時駐車場としての使用ができなくなることから、今回、環境美化センター等を使用し、交通整理のためガードマンを配置しようとするものである」との答弁がありました。これに関連して、他の議

員から「刑務所横の遊休地については、日岡山公園駐車場及び都市計画道路平野神野線の道路用地など全体的ビジョンを明確にして取得に努めるべきである」との意見がありました。

消費費のうち、常備消防費における火災予防事業361万8千円について、放火防止の取組みを質問したのに対し、理事者から「放火をされない、放火をさせない環境づくりについて広報紙等による啓発を行うとともに、公民館における研修会、講演会等にも積極的に出向いていきたい」との答弁がありました。

教育費のうち、教育総務費における学校安全対策事業1,530万円の内容と設置時期を質問したのに対し、理事者から「市内の61公立学校園の校門にインターホン、防犯カメラ、電気錠を設置することにより、児童、生徒が学校にいる間は校門を全て施錠し、不審者の侵入を未然に防止しようとするものである。設置時期については、概ね6月から運用を開始したい」との答弁がありました。これに対し、他の議員から「全公立学校園への機器設置完了とあわせ安全管理マニュアルを見直すなど、万全の体制で臨んでもらいたい」との要望がありました。

小学校英語活動支援事業400万円の内容と効果を質問したのに対し、理事者から「市内の小学校6年生を対象に、国際理解教育の一環として、総合的な学習の時間110時間のうち、10時間を外国人講師による英会話活動などに充てようとするものであり、中学校で学ぶ英語教育に関心を持つことが期待される」との答弁がありました。

社会教育費における子どもと親の相談員活用調査研究事業34万6千円の内容を質問したのに対し、理事者から「中学校における不登校生徒の多くは、小学校においても同様の傾向が見受けられることから、小学校における教育相談体制を充実するとともに、不登校児童などの早期発見、早期対応、未然防止を図るため、県からの調査研究委託を受け、実施しようとするものである」との答弁がありました。

保健体育費における体育指導委員事業482万4

千円について、議員から「拡大して中学校の運動部に対しても派遣を行ってほしい」との要望がありました。

人事行政の運営等の状況の公表に関する条例を制定

これは、人事行政の運営等の状況の公表に關し必要な事項を定めるものです。

議員から「分限、懲戒処分等については、公正性、公平性の確保が求められていることから、理由、内容、事情等について可能な限り公表してほしい」「公表内容については、市民の意見を取り入れながら柔軟に対応してほしい」との要望がありました。

医療の助成に関する条例の一部改正条例を可決

これは、児童福祉法の一部を改正する法律が施行されることに伴い、所要の措置を講ずるとともに、医療助成制度に係る助成の対象及び範囲を見直すため、医療の助成に関する条例の一部を改正するものです。

議員から「乳幼児医療における3歳未満児までの無料化など、市単独の制度として拡充した点は高く評価する。しかしながら、高齢者や母子家庭等の社会的弱者に負担の増を強いることから、賛成できない」との意見がありました。

代表質問

3月8日に行われた代表質問には、5議員が市長の所信を問う立場から質問を行いました。

吉野晴雄（新政会）

1. 安全・安心のまちづくりについて
2. 環境問題について
3. 都心機能の充実について
4. 福祉行政について
5. ゾーンバスについて
6. 住宅貸付金について
7. 職員互助会について
8. 教育行政について

渡辺昭良（市民クラブ）

1. 市長の施政方針について
2. 新年度予算について
3. 中心市街地の活性化について

4. 市民生活の安全・安心について

5. 教育行政について

大西健一（公明党議員団）

1. 平成17年度施政方針について
2. 平成17年度予算について
3. 行財政改革について

山川 博（日本共産党議員団）

1. 市長の基本的政治姿勢について
2. 施政方針と新年度予算について
3. 安全・安心のまちづくりについて
4. 行政の透明性と公正・公平について
5. 教育行政について

岩城光彦（平成クラブ）

1. 加古川市民病院にかかる健全経営について
2. 教育改革について
3. 本市におけるコンプライアンス経営について
4. 指定管理者制度導入の見通しについて
5. 時の要請に応える職員づくりについて

一般質問

3月9日及び10日に行われた一般質問には、10議員が質問に立ちました。

三島俊之（公明党議員団）

1. 環境教育について
2. キャリア教育について
3. 子どもの学力低下について
4. 特別支援教育について
5. 発達障害への理解と支援促進について
6. 防犯タクシーについて

大矢卓志（新政会）

1. 学習指導要領に沿った教科書の採択について
- 田中隆男（平成クラブ）
1. (仮称)ホージャリーセンター建設用地の活用について
2. 加古川市職員福利厚生事業について

広瀬弘子（日本共産党議員団）

1. 小、中学校の施設整備について
2. 中学校給食について

名生昭義（市民クラブ）

1. 加古川駅南広場の整備について

- 2. 加古川駅前公園の整備について
- 3. 加古川駅北広場および加古川駅北の整備について
- 4. JR高架下の整備について
- 5. 一般の自動車駐車場施設とその対応について
- 6. 自転車駐車場施設とその対応について
- 7. 加古川駅北土地区画整理事業について
- 8. 溝之口二丁目地区の市街地整備について
- 9. 回遊性のある歩行者動線の確保について
真田千穂（新政会）
- 1. 市制55周年記念事業について
- 2. 聖徳太子17条の憲法の第1条「和を以て貴しとなす」について
- 3. 泊神社前、泊川の改修について
- 4. 禁煙対策について
堀 充至（新政会）
- 1. 米の消費拡大について
- 2. 少子化対策について
中村照子（日本共産党議員団）
- 1. 子育てをみんなでささえあうまちづくりについて
- 2. 核兵器廃絶宣言都市としての取り組みについて
- 3. 人権について
井筒高雄（無会派）
- 1. 学校園の安全管理について
- 2. 下水道事業の契約について
西田重幸（無会派）
- 1. 各審議会委員について
- 2. 新大崎橋架換工事について
- 3. 志方大池泥土撤去工事について

請願

[不採択となったもの]

請願第13号（平成16年）

ゾーンバスを加古川市内全域に
広げ、走行回数を増やすこと
について

議員から「請願事項は、市内全域にゾーンバスを
広げ、走行回数を増やしてほしいというも

のであるが、できるだけ多くの地域にゾーンバスを
運行してほしいという願意と判断し、賛成したい」「
願意は理解できるが、多くの利用者がある現行の2
路線においても、その赤字分を市がバス事業者に補
助していることから、市内全域でゾーンバスを運行
するのは、現在の厳しい財政状況から判断して困難
であり、賛成できない」「高齢化社会を迎え、将来
を見据えた交通政策の全体像の中で、ゾーンバスの
あり方を検討してもらいたい」との意見、要望があ
りました。

請願第1号 加古川市障害者（児）福祉金を
継続することについて

これは、障害者の自立支援と生活向上に欠かせ
ない市の障害者福祉金を継続してもらいたいとの
請願です。

議員から「ささやかな福祉金が、障害者にと
ってどれだけ大きな金額であるかを考慮すれば、
机上の計算で切り捨てることはできない。また、
受給対象者の多くが、本制度の廃止を認識して
いない現状から、本請願の願意は妥当である」
との採択を求める意見や「今まで一律的に給付
してきた福祉金を廃止し、真に必要な施策を展
開することが重要であり、本制度の廃止はやむ
を得ない」との不採択の意見がありました。

各委員会での報告事項

総務常任委員会

職員の苦情相談制度について

建設水道常任委員会

市北西部のコミュニティ交通（試験運行）に
ついて

福祉厚生常任委員会

損害賠償代位請求事件について

文教経済常任委員会

宝殿中学校の管理運営について

加古川市指定文化財について

*** 4月の行事予定 ***

6日（水）告発文書に関する調査特別委員会
21日（木）各常任委員会